

判断推理

No.11

A～Dの4名がゲームをしており、ゲームが1回終了することに1位から4位までの順位がつく。同順位が生ずることはなく、1位が40点、2位が30点、3位が20点、4位が10点を得て、すべてのゲームが終了したときの合計点を競う。

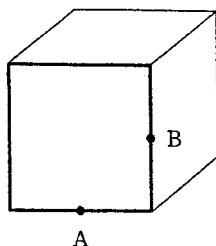
いま、このゲームを6回行うこととし、4回終了した時点では、Aが130点、Bが100点、Cが90点、Dが80点であったが、6回終了した時点ではBが180点で単独のトップとなり、また、残り3名のうち、2名は同得点であった。以上の条件から、最後の2回について、確実にいえるのは次のうちどれか。

- 1 Aは、2回とも3位になった。
- 2 Aは、1回も3位にならなかった。
- 3 Cは、1回も3位にならなかった。
- 4 Dは、少なくとも1回は4位になった。
- 5 Dは、2回とも2位になった。

空間把握（判断推理に含まれる場合有り）

No.17

図のような立方体の二辺の中点A、B及び太線部以外のいずれかの辺の中点の三つの点を必ず通る平面の断面図として、ア～カのうちで、できるものをすべて挙げているのはどれか。



- ア 正三角形
イ 正方形
ウ 長方形
エ 正五角形
オ 正六角形
カ 八角形

- 1 ア、イ
- 2 ア、ウ、オ
- 3 イ、エ、カ
- 4 イ、エ、オ
- 5 ウ、カ

数的推理

No.19

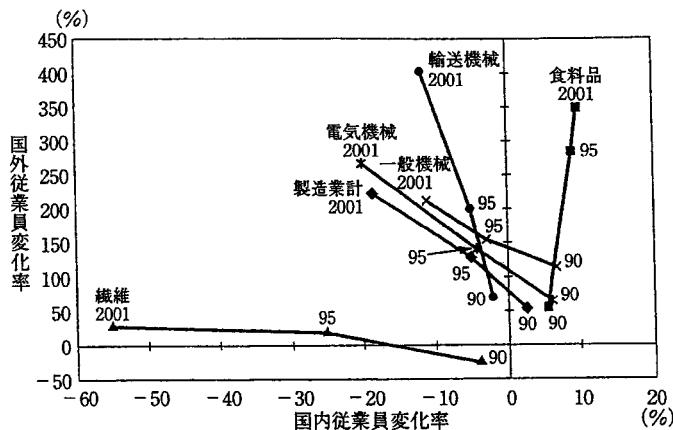
ある地域に17年ごとに大発生するセミ（17年ゼミ）と19年ごとに大発生するセミ（19年ゼミ）の2種が生息しているものとする。2004年に17年ゼミが大発生し、2006年に19年ゼミが大発生した場合、次に最も早くこの2種が同時に大発生する年は次のどの期間に含まれるか。

- 1 22世紀前半（2101～2150年）
- 2 22世紀後半（2151～2200年）
- 3 23世紀前半（2201～2250年）
- 4 23世紀後半（2251～2300年）
- 5 24世紀前半（2301～2350年）

資料解釈

No.24

図は、1985年を基準とした90年、95年、2001年のある国の製造業の業種別・国内外従業員変化率（1985年対比）を示したものであるが、これから確実にいえるのはどれか。



- 1 2001年の繊維の国外従業員数は、同年の電気機械のそれよりも多い。
- 2 1990年から95年にかけての国外従業員の増加数が最も多い業種は食料品である。
- 3 1985年から90年、95年、2001年と、国内従業員数が減少を続けているのは、2業種である。
- 4 2001年の国内従業員数が国外のそれよりも多いのは、4業種である。
- 5 2001年の製造業計をみると、1985年に比べて国内従業員数は約2割減少したが、国外従業員数は約25倍に増加した。